

展示委員会

展示委員会は、JIRA の中核である展示事業において、事務局と連携の上、画像医療システム産業の発展に貢献する展示会の企画を立案し、円滑な展示会運営を推進する。

2023 年度の活動としては、2022 年度の経験を基に、より進化・成熟させたリアル・WEB ハイブリッド展示会開催の実現に向けて、ITEM2023、核医学学会併設展示会も含めて、出展社・来場者に対して各々が参加し易く、且つ、より有用な展示会となることを目指して以下の施策を実行していく。

- ◆ ハイブリッド展示会開催が常態化する中で、REAL と WEB 企画の見直しを図り、展示会の着実な運営を行う。
- ◆ ITEM2022 での問題点の改善として、IT システムの品質確保とサイバーセキュリティ対策を実施する。
- ◆ 2022 年世界核医学会併設展示会で準備した出展社向け登録システムのアップグレードを継続し、出展社がより使いやすいシステム実現を進める。
- ◆ REAL 展示に関しては、新型コロナ感染防止対策を実施し、来場者・出展社の安全を図る。
- ◆ 海外企業、または AI をはじめとする IT 系スタートアップ企業などに対し ITEM 参画を誘致し、ITEM 来場者へ新たなカテゴリーの情報を提供する。
- ◆ 企画立案を強化するために、JIRA 会員企業より展示委員会への参画を募り、IT 関連の知識も携えた人材育成を図りたい。

1. 展示会の運営及び企画・準備

(1) 国際医用画像総合展：ITEM2023 開催運営

- 全体方針
 - REAL と WEB を一体化させ、最大効果が得られる WEB 企画を立案し、展示会の着実な運営を行う。
- ITEM2023-REAL (パシフィコ横浜展示) : 4 月 14 日～16 日
 - ① ITEM2023-REAL に向けた来場者の利便性向上と安全対策(コロナ感染症等)の実施
 - ◆ ITEM 会場来場者(学会登録者・ITEM 登録者)情報の出展各社への提供
 - ◆ (登録者システムはセキュリティー強化のため、外部委託業者から JIRA 開発システムへ切替、ITEM2023 では初回運用のため、モニタ企業に限定提供、2024 以降は順次拡大予定)
 - ◆ ウイルス感染対策として、行政、パシフィコ横浜のガイドラインに合わせ準備を進める
 - ◆ (消毒液設置・サーモグラフィー設置、ソーシャルディスタンスの確保等)
 - ◆ 展示開催期間中のスタッフの安全確保
(作業安全の啓蒙、巡回による事故防止の徹底)
 - ② JIRA ステージ企画
 - ◆ 特定テーマプレゼン発表
テーマ: AI、DX/IoT、放射線管理/放射線防御、医療安全/感染防止
 - ◆ 企業プロモーション発表
出展企業の製品紹介など
 - * 出展社(出展ブースのスペース制約、自社ホームページ作成困難な企業)への機会提供
 - * 各ステージ発表は、展示会場内休憩所でもリアルタイムにて上映
 - * 発表コンテンツは、WEB サイトでオンデマンド配信し、ITEM 終了後に企業に配布
 - ◆ ブースレポート
出展社ブースの企業・製品のビデオ収録
 - * 開催前日に申込み企業のブースでビデオ撮影
 - * 2022 同等のスタンダードプランに加えて、ショートプラン・ロングプランを追加
 - * 発表コンテンツは、WEB サイトでオンデマンド配信し、ITEM 終了後に企業に配布

● ITEM2023WEB サイト:3 月 10 日~5 月 23 日

① WEB サイト内容

- ◆ ITEM2023-REAL 展示開催前、期間中、開催後を開催期間とし、REAL 展示と WEB サイトを連携させて、集客効果のある企画とする
- ◆ REAL 展示開催前施策
ティザー広告、参加登録、展示社・出展品リスト(検索機能含む)、JIRA ステージ企画の発表スケジュール
- ◆ REAL 展示開催後施策
特定テーマ、企業プロモーションのステージプレゼンのオンデマンド配信

② JRC 学会との連携

- ◆ ITEM2023-REAL 展示開催前、期間中、開催後を開催期間とし、REAL 展示と WEB サイトを連携させて、集客効果のある企画とする

(2) 第 63 回日本核医学学会学術総会/第 43 回日本核医学技術学会総会学術大会併設展示会
(大阪市 グランフロント大阪、2023 年 11 月 16~18 日)の開催、運営

(3) 国際医用画像総合展：ITEM2024 の企画準備

(4) 第 64 回日本核医学学会学術総会/第 44 回日本核医学技術学会総会学術大会併設展示企画準備

2. 展示関連の課題について、解決・改善を図る

- ◆ ニューノーマル時代におけるハイブリット開催常態化の中、ハイブリッド展示の効果を実感できる企画の提供を進める。
- ◆ 展示会情報管理として、IT システムの品質とサイバーセキュリティ対策を強化し、登録者、出展社が使いやすいプラットフォームを提供する。
- ◆ REAL、WEB 各展示会実施に向け、展示会の運営要項を見直し、出展各社が公平、且つ効果が見込める展示会となるように努める。
- ◆ JRC 合同実行委員会に対し、より良い展示会開催を目指して提言を行う。

以上、JRC2023 にてより進化・成熟させたリアル・WEB ハイブリッド展示会を実施し、その後の課題について、展示委員会で改善を図り、参加企業にとって、より有益な展示会として成長させる。